

各種スポーツ大会

連合町内会体育部が主催しているスポーツ大会として、「卓球大会」「ソフトボール大会」「テニポン大会」「ミニバレー大会」の4種目があります。

いずれの種目も町内会対抗が基本ですが、チームを組めるだけの人数が集まらない町内会も多いため、複数の町内会による混成チームで競技を行う場合が多くなっています。

また、新たな種目を要望する声も出てきています。



交通安全街頭啓発

連合町内会交通安全部、新川地区交通安全母の会、新川及び近隣地域の交通指導員の方々が参加して、季節ごとに交通安全を呼びかける街頭啓発（旗の波）を実施しています。10月には、各町内会に呼び掛けて新川通りを6ブロックに分けて街頭啓発も行っています。



防犯・防火パトロール

連合町内会防犯防災部が主体となって、年金が支給される偶数月15日に振込め詐欺被害防止を呼び掛ける街頭啓発、学童の登下校時の見守り、青色回転灯装着車によるパトロールを行っています。また、12月には、北消防署新川出張所と合同で新川全域を歳末防犯防火のパトロールを行っています。



すこやかフェスタ

新川地区社会福祉協議会、連合町内会社会福祉部、女性部が協力して、健康をテーマに「すこやかフェスタ」を毎年開催しています。



連町新聞発行

連合町内会の情報、単位町内会の情報を地域内の住民で共有できるようにと、昭和56年（1981年）11月に、連合町内会の機関紙「新川」が創刊されました。創刊当時は編集委員が紙面の編集を行っていました。昭和61年（1986年）に広報部が発足し、新聞の編集にあたっています。

機関紙のタイトルは昭和56年の創刊から平成26年（2014年）2月発行の第119号まで「新川」としてきていましたが、平成26年に連合町内会の名称が「新川さくら並木連合町内会」となったことに合わせ、機関紙のタイトルも「新川さくら並木」に変わりました。

新聞の発行は年4回であったり、2回、3回の年もありましたが、平成28年（2016年）からは年4回発行を続けています。

創刊号
10周年記念

昭和46年11月25日

創刊号
昭和46年11月25日
発行 新川連合町内会
発行所 浅田 武雄

橋岡紙の発行による

新川連合町内会 浅田 武雄 代表

要望の実現化に努力

— 区長懇談会 北署も参加 —

新川連合町内会（以下「連合会」）は、11月20日（水）午後2時から、新川区役所第2会議室で、区長懇談会を開いた。区長（浅田 武雄）をはじめ、関係者約30人が参加し、地域の要望や課題について、区長と直接話し合いを行った。懇談会では、まず浅田区長が「新川区は、平成17年10月1日に誕生した。10年が経ち、地域の発展に向けて、様々な課題を抱えている。連合会をはじめ、関係者と共に、地域の要望や課題を把握し、実現化に向けて努力していく」と話した。その後、関係者が意見を述べた。主な意見としては、「地域の清掃活動の充実」、「高齢者の生活支援」、「子育て支援の充実」、「地域の活性化」などがあった。区長は、「意見をありがとうございます。実現に向けて努力していきます」と答へた。懇談会は大変盛況で、関係者からは、「区長と直接話し合いができてよかった」との声が上がった。

町内の若い場として

新川連合町内会 浅田 武雄

新川連合町内会（以下「連合会」）は、11月18日（木）午後2時から、新川区役所第2会議室で、町内の若い場として、町内会役員懇談会を開いた。町内会役員（浅田 武雄、佐藤 正、高橋 正司、高橋 孝典、高橋 孝治、高橋 孝典、高橋 孝治、高橋 孝典、高橋 孝治）が参加し、町内の若い場としての役割について話し合った。町内会役員は、「町内の若い場としての役割を果たすため、積極的に活動していく必要がある」と話し、町内の若い場としての役割を果たすための取り組みについて話し合った。

鍋を囲み親睦の輪を広げる

連合会役員 浅田 武雄

新川連合町内会（以下「連合会」）は、11月16日（火）午後2時から、新川区役所第2会議室で、鍋を囲み親睦の輪を広げる会を開いた。連合会役員（浅田 武雄、佐藤 正、高橋 正司、高橋 孝典、高橋 孝治）が参加し、鍋を囲み親睦の輪を広げる会が行われた。鍋を囲み親睦の輪を広げる会は、連合会役員が中心となり、地域の住民と共に、鍋を囲み親睦の輪を広げる会が行われた。鍋を囲み親睦の輪を広げる会は、連合会役員が中心となり、地域の住民と共に、鍋を囲み親睦の輪を広げる会が行われた。

急救指定病院

野中江口整形外科病院

院長 野中 克彦
副院長 江口 昇安

〒961-0011 新川町 北沢 3-1-1
TEL: 011-763-0110

産婦人科・内科・外科診療

新川病院

院長 梶 千鶴子
副院長 大塚 昌子

〒961-0011 新川町 北沢 3-1-1
TEL: 011-711-8155

とももも看護福祉部の発表

とももも看護福祉部 浅田 武雄

新川連合町内会（以下「連合会」）は、11月14日（日）午後2時から、新川区役所第2会議室で、とももも看護福祉部の発表会を開いた。とももも看護福祉部（浅田 武雄、佐藤 正、高橋 正司、高橋 孝典、高橋 孝治）が参加し、とももも看護福祉部の発表が行われた。とももも看護福祉部の発表は、とももも看護福祉部が中心となり、地域の住民と共に、とももも看護福祉部の発表が行われた。

第119号
2014年（平成26年）2月28日（金）

発行 新川連合町内会

第119号
2014年（平成26年）2月28日（金）
発行 新川連合町内会
発行所 浅田 武雄

年頭のご挨拶

大西 建彦

新年のご挨拶

新川連合町内会 浅田 武雄

新川連合町内会（以下「連合会」）は、2月28日（金）午後2時から、新川区役所第2会議室で、新年のご挨拶会を開いた。連合会役員（浅田 武雄、佐藤 正、高橋 正司、高橋 孝典、高橋 孝治）が参加し、新年のご挨拶会が行われた。新年のご挨拶会は、連合会役員が中心となり、地域の住民と共に、新年のご挨拶会が行われた。

新年交礼会

新川連合町内会 浅田 武雄

新川連合町内会（以下「連合会」）は、2月28日（金）午後2時から、新川区役所第2会議室で、新年交礼会を開いた。新年交礼会は、連合会役員が中心となり、地域の住民と共に、新年交礼会が行われた。

謹賀新年

新川連合町内会 役員一同

新川連合町内会（以下「連合会」）は、2月28日（金）午後2時から、新川区役所第2会議室で、謹賀新年会を開いた。謹賀新年会は、連合会役員が中心となり、地域の住民と共に、謹賀新年会が行われた。

第120号
2014年（平成26年）6月30日（日）

発行 新川さくら並木

第120号
2014年（平成26年）6月30日（日）
発行 新川さくら並木
発行所 浅田 武雄

新川さくら並木

浅田 武雄

新川さくら並木

浅田 武雄

新川さくら並木（以下「並木」）は、6月30日（日）午後2時から、新川区役所第2会議室で、新川さくら並木の活動について話し合った。並木は、「新川さくら並木の活動について話し合った」と話し、新川さくら並木の活動について話し合った。

新川さくら並木フェスティバル

新川さくら並木 浅田 武雄

新川さくら並木（以下「並木」）は、6月30日（日）午後2時から、新川区役所第2会議室で、新川さくら並木フェスティバルを開いた。新川さくら並木フェスティバルは、並木が中心となり、地域の住民と共に、新川さくら並木フェスティバルが行われた。

音楽祭

新川さくら並木 浅田 武雄

新川さくら並木（以下「並木」）は、6月30日（日）午後2時から、新川区役所第2会議室で、音楽祭を開いた。音楽祭は、並木が中心となり、地域の住民と共に、音楽祭が行われた。

新川さくら並木

新川さくら並木 浅田 武雄

新川さくら並木（以下「並木」）は、6月30日（日）午後2時から、新川区役所第2会議室で、新川さくら並木の活動について話し合った。並木は、「新川さくら並木の活動について話し合った」と話し、新川さくら並木の活動について話し合った。

第153号
2023年（令和5年）3月4日（木）

発行 新川さくら並木

第153号
2023年（令和5年）3月4日（木）
発行 新川さくら並木
発行所 浅田 武雄

新川さくら並木

浅田 武雄

新川さくら並木

浅田 武雄

新川さくら並木（以下「並木」）は、3月4日（木）午後2時から、新川区役所第2会議室で、新川さくら並木の活動について話し合った。並木は、「新川さくら並木の活動について話し合った」と話し、新川さくら並木の活動について話し合った。

令和5年新春初め大会

新川さくら並木 浅田 武雄

新川さくら並木（以下「並木」）は、3月4日（木）午後2時から、新川区役所第2会議室で、令和5年新春初め大会を開いた。令和5年新春初め大会は、並木が中心となり、地域の住民と共に、令和5年新春初め大会が行われた。

新川さくら並木

新川さくら並木 浅田 武雄

新川さくら並木（以下「並木」）は、3月4日（木）午後2時から、新川区役所第2会議室で、新川さくら並木の活動について話し合った。並木は、「新川さくら並木の活動について話し合った」と話し、新川さくら並木の活動について話し合った。

北海道マラソン給水ボランティア

昭和62年（1987年）に始まった北海道マラソンですが、平成21年（2009年）にコースが大幅に変更され、新川通りがコースの一部になったのを機に、新川地区の各町内会がマラソンの給水ボランティアに参加するようになりました。ボランティアを始めた年は、マラソンのエントリー者数が8,300人程度でしたが、現在（令和4年）は、20,000人を超えるエントリー者数になっています。

ボランティアの参加人数は町内会によって異なりますが、10名前後の町内会から50名を超える町内会まで活動場所によって様々です。近年は人手の確保が難しいためにボランティアを辞退する町内会も出てきていますが、多くの町内会では幅広い年代の方達がボランティアを継続しています。



新川まちづくりセンター自主運営

令和4年（2022年）10月から、地域の62団体が構成する「新川まちづくり協議会」（令和3年（2021年）12月発足）が運営母体となって「新川まちづくりセンター」の自主運営を行っています。これは、一層地域に密着した運営ができるようにするためです。

新川まちづくりセンターでは、住民票、印鑑証明、戸籍謄（抄）本などの証明書発行の取次も行っています。ただし、受け取れるのは申し込みの翌営業日になります。

